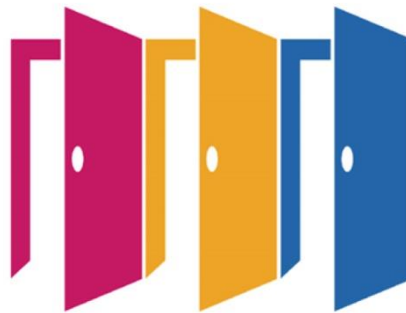


国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーで良いことをしよう

高田ロータリー
今年のスローガン

変化を楽しもう



ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度

国際ロータリー会長 **ホルガー・クナーク**
2560地区ガバナー **佐藤 真**
高田ロータリー会長 **大島 誠**
幹事 **伴 長門**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員会：
齋藤 尚明・飯塚 宏佳・佐藤 信・川崎 直哉・齋藤 俊幸

第4回例会 ◆7月31日(金)

No.4

会長挨拶

●大島 誠



こんにちは。皆さんお元気ですか？

私事ですが、7月25日還暦を迎えました。WHOでは65歳から75歳までを前期高齢者、75歳からを後期高齢者と定義しています。還暦など誰の事かと思っておりましたが、いよいよ自分も高齢者予備軍に入ったようです。今月初めに個人年金保険の支払い案内が来まして「宛先を間違えていないか」思わず確認いたしました。複雑な気分です。また、先日親しい友人が心疾患で緊急入院し、対応が早く大事なく退院をいたしました。入院した夜に、家内に「私が急にポックリ逝っても暮らしていけるか？」と尋ねましたら、少し間があった後「大丈夫かな」との返答。こちらも複雑な気分でした。

私が還暦を迎えた7月25日 実家の母が93歳の天寿を全ういたしました。農家の嫁として長い間働きながら、病気もなく、最後は老衰で正にエネルギーが切れていくように息を引き取りました。今年の活動テーマは「変化を楽しもう」です。私が母の歳まで生かさせて頂いたとしてあと33年、家庭や会社そして地域での役割の変化を楽しみ、仕事を通して、またロータリー活動を通して、社会に少しでも恩返しができるような生き方を心がけたいと思います。

ビジター

堀 英世様 (長野北 RC 会長)

メイクアップ

大谷光夫君・本山秀樹君・水上喜芳君・堀井靖功君・
羽深耕時君・石倉 悟君・橋詰敏一君・齋藤尚明君・
中田 正君・飯塚宏佳君・佐藤憲二君・遠藤 巖君・
箕輪健一君・牧野章一君・佐藤教彦君・高橋正彦君
(7/18 第7分区感謝の集い)

出席報告

98.15%

委員会報告

2019-2020 年度出席ニコニコ BOX 委員会

出席 100%表彰

出席ニコニコ BOX 委員会

大島 誠君：7月25日 還暦になりました

職業奉仕委員会 9月18日 職場訪問：岩の原葡萄園 (移動例会) のお知らせ

幹事報告

配布物：週報No.3、ロータリーの友8月号

回覧物：大谷年度ガバナー月信感謝号、佐藤年度ガバナーレター、糸魚川 RC 週報号外号



皆様、こんにちは。

第2770地区（埼玉南東）春日部西クラブ所属の永田雄治です。

昨年の8月23日には「ポリオワクチン投与活動の最前線では」というお話をさせていただきましたので今回は2回目の訪問となります。

本日は会員増強がテーマとのことですが、私が考えるロータリアンだからこそ経験のできる親睦と奉仕から、ロータリーは楽しい団体であることをお話ししたいと思います。

皆さんは「親睦活動グループ」があることはご存知ですか。世界的な同好会組織で主だったものとして私が所属するゴルフの他に、テニス、切手、写真、ヨット、音楽などがあり、日本が中心の囲碁、新しいものでビールなどがあります。ゴルフを例にとると、世界61カ国のメンバーからなり、毎年その国のメジャーコースでトーナメントを開催しています。今年は11月のモロッコのマラケシュで予定をしておりましたが、新型コロナの影響で来年に延期されています。

私が参加したのはアメリカ、スイス、オランダ、カナダ、エストニアなどですが、例年20数カ国から200～300名のメンバーが集まり4日間のトーナメントをしていますが、ランチや夕食会での懇親も楽しみの一つです。

一番の思い出は初参加のアメリカのパインハースト・リゾートで、1895年設立の8コースから成る全米最大のゴルフコースで、2014年には2週に渡り男女の全米オープンが開催されたことでも有名なところ です。

下部組織としてアメリカ・カナダ、オーストラリア、ヨーロッパ、インド、南アジアなどがありますが、残念ながら現在、日本には正式な組織がありませんが、1987年には静岡県「川奈」で世界大会開催と歴史にはあります。昨年の10月にはアメリカ・カナダの大会へも参加をしましたが、世界中の名門コースでプレイが出来ることも魅力ですが、世界中にゴルフ仲間が出来るのもロータリアンだからこそと思って毎年楽しみにしています。

奉仕の面からとしては前回にお話をしましたインドとパキスタンでのポリオワクチン投与活動の他に、昨年 からミャンマーでの学童検診プログラムを始めました。この活動はミャンマー米山学友会との共同プロジェクトで、学友会が支援する僧院（様々な理由で親から離れて暮らす子供達）の健康診断をするために全国からの小児科医が集まってクーラーもない僧院で汗をかいています。大半の子供達は自身の身長や体重を計ることもなく、ましてやドクターに診てもらふことなどはありません。診察後に可愛らしい笑顔で合唱されると暑さなど吹き飛ばす感動があります。診察の結果、数名には先天性心疾患の他、頭部の白癬菌（水虫）や疥癬（ダニの寄生による皮膚感染症）などが見られ、大半の子供達が虫歯であることが分かり、次回の活動からは歯科医を募って訪問する予定ではありますが、こちらも新型コロナの影響で延期といるので残念です。詳しいことは「ロータリーの友」2019年12月号横書き P14-15に掲載がありますのでご覧いただければ幸いです。

高坂直前会長がそうであった様に、奉仕活動に参加したい方は是非とも一緒に汗をかきませんか。国内、世界へと繋がり・交わりから出会いがあります。

最後にこの様な経験ができるのはロータリーの醍醐味であり、ロータリアンだからこそです。国際大会などのイベントにはクラブや地区単位で参加行動されるのでせつかくの交わるチャンスを逃していると思います。最初の一步には勇気が入りますが、私と一緒によろしければ世界に踏み出して見ませんか。

ありがとうございました。